

# 平成21年度 学校自己評価シート（さいたま市立大宮西高等学校）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

目指す学校像	確かな学力と豊かな人間性を育成して、自己実現を図る。
重点目標	1 生徒が学力の向上と定着を実感できる学習指導の充実 2 心身ともに健康でけじめある生活を送れる生徒の育成 3 生徒自ら進路を選択し、その実現に向けて努力する姿勢の確立 4 開かれた学校作りの推進（情報発信の充実と活用）

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価（月 日現在）		学校関係者評価	
年度目標					評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日（月 日）
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標				学校関係者からの意見・要望・評価等
1	授業評価や公開授業を通して授業の工夫改善に取り組んでいる。生徒個々が進路実現を目標に努力を継続しており、家庭学習の時間が増えるなど、改善も見られている。学習習慣を一層向上させるための充実した指導の継続が求められる。	学力向上のための授業改善の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケートを参考にした授業改善</li> <li>教科主任連絡会を活用し学習指導方法の改善向上を図り学習意欲を高めていく。</li> <li>授業の活性化と主体的な学習態度の育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>*チャム着席、チャム始業他</li> </ul> </li> <li>わかる授業の実践及び学び合いや共有化の推進（教科別・テーマ別研修等の活用）</li> <li>教育課程の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲を持って主体的に授業に取り組む生徒が増えたか。（授業アンケート）</li> <li>生徒の学力は向上したか。</li> <li>授業研究や研修会の成果を授業の工夫、改善に生かされたか。</li> </ul>				
2	頭髪服装の指導や時間を守る指導などを継続している。挨拶など礼儀は良好であるが、制服の着こなし、授業態度等に改善を要する。けじめある生活態度を育てる指導の充実 清掃等、学校環境の整備に改善が必要である。 人間関係作りに経験が浅い傾向が強まっている。	豊かな人間関係作りと生徒指導の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>けじめのある生活を送る指導の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>*時間を守る遅刻指導</li> <li>*規則を守る</li> </ul> </li> <li>気持ちよく学ぶ環境の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>*挨拶</li> <li>*清掃</li> </ul> </li> <li>心身ともに健康な生徒育成の取り組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>*家庭との連携による食育</li> <li>*交通安全指導の充実</li> </ul> </li> <li>豊かな人間関係育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>*仲間づくりの指導を大切にする。</li> <li>*国際感覚の育成をはかる。（国際交流事業）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻数が減少したか。</li> <li>問題行動が減少したか。（指導内容評価を伴う）</li> <li>校内が美しく保たれているか。</li> <li>生徒の心の健康について外部機関や保護者との連携を一層深める。</li> <li>交通事故が減少したか。</li> <li>学校行事や部活動は活性化したか。（部活動加入率と活動状況）</li> </ul>				
3	進路行事をとおして進路意識は学年を追って向上している。そして、多くの生徒が進路実現に向け、よく考え準備している。しかし、進路準備の開始時期が多少遅れる生徒や進路先を安易に決めている生徒も一部見受けられる。3年間を見通した系統的な進路指導体制の確立が必要である。	満足できる進路先の発見とその実現に向けた指導の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々に応じた進路意識の向上のための面談</li> <li>進路行事・総学におけるガイダンスなどの活用</li> <li>「進路の手引き」の編集や各種資料の整備等、有効で適切な進路情報の提供</li> <li>大学・短大・専門学校・企業等との密接な連携</li> <li>学習意欲を喚起し、学力向上を図るための補習・課題テスト・実力テスト等の実施</li> <li>第一志望をあきらめない指導</li> <li>埼玉大の見学や進路セミナーなど学年に応じた指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談・進路行事等を通じて、生徒の進路意識を引き出すことができたか。</li> <li>進路を考えるための正確な情報や機会を提供できたか。</li> <li>ニート・フリーター対策は図れたか。</li> <li>様々な生徒が志望する進路を選択できたか。</li> </ul>				
4	P T A ・地域等との連携が深まりつつある。HPの更新などが順調に進められている。今後より相互の理解を深めながら具体的な連携を実施することが求められる。	開かれた学校づくりの推進のため情報発信の充実と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業公開の推進・充実</li> <li>P T A 等との連携協力の推進とP T A 等の活動充実への支援</li> <li>HP等各種方法による情報提供の充実</li> <li>メール連絡網の活用メール連絡網の加入率アップ</li> <li>他の校種との連携の企画</li> <li>保護者や地域等の意見等の収集とその活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の情報は十分に伝えられたか。</li> <li>各行事への保護者地域の参加が増えたか。</li> <li>学校と保護者、地域が連携・協力できたか。</li> <li>保護者、地域等の学校への願いなどが把握できたか。（行事等のアンケート）</li> <li>メール連絡網の加入数と活用件数が増えたか</li> </ul>				